

第36回（令和3年度）  
商業経済検定試験問題  
〔ビジネス経済A〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から15までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 計算用具などの持ち込みはできません。
6. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2020年から新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの生活にはマスクが必要不可欠になった。マスクをはじめとする財は、経済主体によって生産や消費といった経済活動に利用されている。

(a)限られた財をどのように配分するかを決める社会的なしくみには、さまざまな方法がある。海外では、国民健康保険証を利用して1人2枚のマスクを、誰もが週に一度確実に購入できるようなしくみを作った例もある。

わが国では、市場による経済活動により、マスクをはじめとする多くの財が取引されている。財の取引方法には、朝早くから並んで財を手に入れる方法もあれば、(b)購入の意思表示をした買い手のうち、最も高い価格をつけた人が財を手に入れることができる方法もある。後者の取引方法は、限られた財を効率的に活用するために、市場が自由競争による配分を行っているのであり、有効な(c)市場メカニズムの一つである。

ところがマスクに関しては、2020年3月10日に「国民生活安定緊急措置法施行令の一部を改正する政令」が閣議決定され、転売が規制された。この結果、同年8月29日にマスクの国内生産や輸入の増加が確認されて、この転売規制が解除されるまでは、総合スーパーやドラッグストア、インターネットによる通信販売などでマスクを購入し、(d)購入価格を超える価格で転売を行った場合、処罰の対象となることになった。

新型コロナウイルス感染症は2021年も猛威を振るっていた。ウィズコロナという言葉があるように、私たちのこれからの生活はコロナと共に暮らしていくことを余儀なくされている。

問1. 下線部(a)を何というか、9文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)のような取引方法を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 抽選    イ. オークション    ウ. 先着順

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

ア. 財に価格をつけ、買い手と売り手の希望が一致するところで財の配分を実行するしくみ  
イ. 買い手に優先順位をつけ、優先順位が高い順に希望する財の配分を実行するしくみ  
ウ. 自分が不要になった財を、無料で引き取ってくれる希望者へ財の配分を実行するしくみ

問4. 本文の主旨から、下線部(d)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

ア. 本来、政府は効率的な資源配分を実現させる市場における自由競争を保証しているが、高額転売が横行することで、これ以上市場が活性化し過ぎては困ると判断したから。  
イ. 本来、政府は効率的な資源配分を実現させる市場における自由競争を保証しているが、高額転売が横行することで、マスクを海外に転売されてしまうと判断したから。  
ウ. 本来、政府は効率的な資源配分を実現させる市場における自由競争を保証しているが、高額転売が横行することで、国民の安全な生活が確保できないと判断したから。

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

現代の市場経済の特色は、サービス化・情報化・国際化という三つのキーワードがあげられる。ここではわが国の金融市場を例に、それぞれの特色について考えてみる。

一つ目のサービス化の例は、金融市場において保険会社が販売する(a)保険のリスク配分機能があげられる。リスクとは、ある日偶然、事故にあってけがをしたり、急に病気になったりするというような、まだ起きていないが危険にあう可能性や、困難に見舞われる可能性があることをいう。保険はこのような経済的損失の可能性というリスクを保険料と引き換えに低減させるサービスと考えられる。

二つ目の情報化の例は、銀行の業務にみることができる。銀行の窓口は、法律により15時で閉店することが原則になっているが、現在ではコンビニエンスストアにもATMが設置されたことにより、24時間いつでも預金が引き出せるようになった。この他にも、(b)ICTの発達にともなう情報化により、銀行の利用者にとって便利になったことも多い。

三つ目の国際化の例は、1990年代まで時代をさかのぼる。それまでは、業界のなかで力の弱い金融機関に合わせて規制を作ることで多くの銀行を守る、護送船団方式と呼ばれる方法が用いられてきたが、(c)1990年代なかばからわが国で実施された大規模な金融制度改革により、銀行・保険会社・証券会社のそれぞれの分野において新規企業の参入が促進されるようになった。

世界に目を向けると、電子データのみでやりとりされる仮想通貨(暗号資産)の取引も活発化している。変化の激しい現代の市場経済のなかで、これからも金融市場は、サービス化・情報化・国際化のもと、ますます便利になっていくことだろう。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 保険は、加入者が保険料を支払うことにより、保険会社の社員が病気やけがで入院したときに、保険会社が入院費や治療費などの経済的損失を負担してくれる機能がある。
- イ. 保険は、加入者が保険料を支払うことにより、加入者が病気やけがで入院したときに、保険会社が入院費や治療費などの経済的損失を負担してくれる機能がある。
- ウ. 保険は、加入者が保険料を支払うことなく、加入者が病気やけがで入院したときに、保険会社が入院費や治療費などの経済的損失を負担してくれる機能がある。

問2. 下線部(b)の具体例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 専用のアプリを利用することで、銀行の窓口に行かなくても24時間いつでも口座開設の申し込みができるようになった。
- イ. 給料日が25日の会社が多いという昔からの慣習から、前日の24日は比較的待ち時間が少なく利用できるようになった。
- ウ. 新規の口座開設時は紙の通帳発行は有料になったが、通帳記帳をしておくことで、24時間いつでも残高が確認できるようになった。

問3. 下線部(c)を何というか、7文字で正しい用語を記入しなさい。

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

価格と需要との関係は、価格が下がると需要量は増え、価格が上がると需要量が減るといった、負の相関関係が成り立つ。ここではりんごの市場を例に需要量の変化についてみる。

下図は、りんご市場の需要曲線である。需要曲線Dはりんご1個の価格が150円のときに需要量が10個、価格が100円に値下がりした場合、需要量が25個になることをあらわしている。

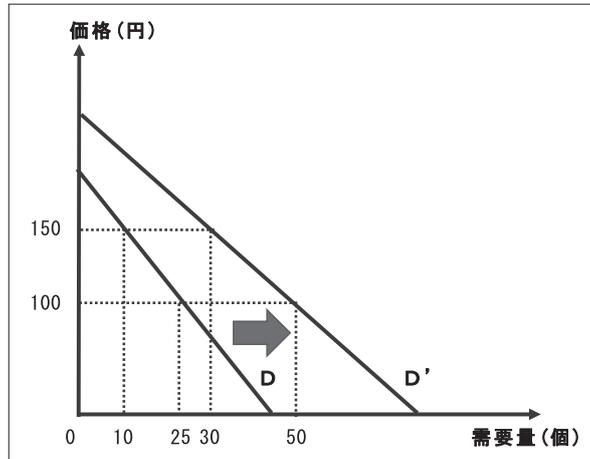
ところで、(a)下図の需要曲線D'は、需要曲線Dに対して、右にシフトしている。これは需要者の消費可能な予算額が増えると、財の価格が同じであっても需要量が多くなることを示している。また、財の価格以外にも需要量の増減に影響を与える要素があり、その影響により、需要曲線は変化する。テレビ番組でりんごの効能が取り上げられると、りんごに対する好みが増し、需要量が増えることも一例としてあげられる。

しかし、りんごに限ったことではないが、ある特定の財を消費する際には、その(b)消費量が増えれば増えるほど、新たに追加して消費した1個の財から得られる「満足度の増加分」が小さくなっていく法則もある。

ここではりんごだけで考えているが、食後のデザートに果物を食べたいと考えたとき、りんごの代わりにぶどうやみかんを選ぶように、(c)たがいに代わりになるような関係にある財は、世の中にはたくさんある。

経済学の世界では一つの財について考えるが、現実の世界にはさまざまな財がある。価格と需要の関係には、季節や好みという要素も複雑に影響を与えているのである。

りんご市場の需要曲線



問1. 本文の主旨から、下線部(a)の要因として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 財に対する有益な情報を入手したことで、需要者の財に対する選好が増加した。
- イ. 需要者の所得が減少したことで、財に対する消費可能な予算額が減少した。
- ウ. 生産される財の量が減少したことで、需要者が購入できる財の量が減少した。

問2. 下線部(b)を何というか、漢字6文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)のような財を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 劣等財
- イ. 代替財
- ウ. 補完財

④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響で非常事態宣言が発出され、外食産業の多くは営業時間の短縮や休業を余儀なくされるなか、経営努力を続けていた。

一般的に企業は財を生産し、販売して収入を得ている。私たちはその財を購入して消費しているのだが、財の生産には費用がかかる。企業はこの一連の経済活動のなかから利潤をうみだしている。

レストランのA店は、外出制限で来客が少なくなり店内での飲食客が減ったため、新たに弁当を販売することにした。(a)A店は弁当を生産するために、回収が不要な弁当の容器を新たに購入する必要があった。ここで、弁当を生産する際の費用を考えると、生産量に応じて増減する変動費と、生産量にかかわらず変化しない固定費の二つで構成されている。

弁当の市場を考えたときに、弁当を扱う企業はたくさん存在するため、それぞれの企業の生産量が市場全体の生産量に占める割合はわずかであり、市場で決定される価格に影響を及ぼすことはできないと考えられた。A店は(b)市場から与えられた価格を純粋に受け入れる存在だった。

A店は来客の減少による収入減を補うために弁当の販売を行い、売れ残りや売り逃しによる食材のロスが減らすことで、A店の(c)収入と費用の差が最大になるように生産量を決定している。

弁当の配達を外部に業務委託することで労働費を削減できたことも、A店が弁当の販売に踏み切った一因である。このように世の中の困りごとに対して、それを解決するためのサービスが新たにうまれることで経済は回っているのである。企業はさまざまな形で存続発展への経営努力を続けているのである。

問1. 下線部(a)に記された弁当の容器にかかる費用はどの項目に含まれるか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 変動費    イ. 固定費    ウ. 労働費

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. プライスマイカー    イ. プライスリーダー    ウ. プライステイカー

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 限界収入    イ. 最適生産    ウ. 限界費用逡増の法則

問4. 本文の主旨から、A店はどのような経営努力を行っているか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. A店は利用客に割引クーポンを配布し、それを利用してもらうことでリピーターを増やす工夫をして利潤を増やそうとしている。
- イ. A店は弁当を配達する業務を開始し、他のレストランからも配達の業務委託を受け付ける工夫をして利潤を増やそうとしている。
- ウ. A店は弁当を生産し、それを販売することで収入を増やし、食材の廃棄ロスを減らす工夫をして利潤を増やそうとしている。

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

地球温暖化の影響で、異常気象による自然災害が毎年のように発生するなか、農作物の安定供給は難しい。ここでは、農作物の需要と供給の関係から価格決定のしくみについて考えてみる。

天候不順で農作物の生育が悪く不作になったり、病虫害被害に見舞われたりすると、予定していた収穫量を下回ってしまうために、農作物は(a)需要量に対して供給量が少ない状態になる。このような品不足のときは、価格が上昇していくが、他の生産地からの供給を見込めない農作物の場合は、(b)短期的にみると供給の価格弾力性はゼロになると考えられる。その一方で好天に恵まれて豊作になると、需要量よりも供給量が大幅に増える。農作物のなかでも保存のきかない農作物の場合は、一度に大量に供給することで販売価格が下落し、結果的に赤字になってしまう。このような場合には、(c)生産者は作った農作物を出荷せずに廃棄してしまうことがある。

わが国では自然と向き合う第一次産業は高齢化が進み、生産者数やその割合が減少している。若者の就農を支援する国の施策や、法人化して農業を行う企業が増えることで、農業人口の減少に歯止めをかけようとしており、その一方で(d)農作物を生産する企業は天候不順による不作に対して農作物の持続可能な安定供給のためにさまざまな取り組みを行っている。

人口増加が続く地球上で、食物は限りある資源である。私たちが消費者としてできることは、何だろうか。例えば、食品廃棄を減らす、地産地消や旬の味覚をおいしくいただくことなどは、誰もが手軽に取り組めることである。私たち一人ひとりの行動が、結果的に農作物の価格維持につながっていくのである。

問1. 下線部(a)のような状態を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 超過利潤    イ. 超過需要    ウ. 超過供給

問2. 本文の主旨から、下線部(b)はどのような状態と考えられるか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 価格が高騰しても、すぐには新たな農作物が供給されない状態  
イ. 価格が高騰したときに、すぐに新たな農作物が供給される状態  
ウ. 価格が高騰しても、安定して新たな農作物が供給される状態

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 収穫を遅らせたことで、農作物が育ちすぎてしまい箱に入らなくなるため  
イ. 害獣によって農作物が食い荒らされることにより、廃棄せざるをえなくなるため  
ウ. 収穫して販売することで得られる収入よりも、出荷までにかかる費用の方が高くなるため

問4. 下線部(d)の具体例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. A社は、熱帯雨林の森林を伐採して新たな畑を開墾し、焼き畑農業を行うことで農産物を生産、収穫している。  
イ. B社は、昆虫を食用にするための研究を行っており、将来の人口増加に備えて、昆虫食を広める活動を行っている。  
ウ. C社は、廃校になった小学校の体育館に屋内で野菜を育てられる人工光型植物工場を開設し、葉物野菜を生産、販売している。

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の考えは、2021年夏に1年遅れで開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においても、さまざまところで実践されていた。これらの大会で選手に授与された約5,000個の金・銀・銅メダルは、全国各地で回収された使用済み携帯電話やスマートフォン、小型家電などから抽出したリサイクル金属で作られていたこともその一つである。

ところでスマートフォンは、各企業によって次々と新機種が開発されている。わが国のスマートフォンの市場は、(a)10数社の企業が存在する市場であり、市場に財を供給する企業が少数に限られる不完全競争の状態である。機種変更に伴い使われなくなった携帯電話やスマートフォンなどから最終的に金約32kg、銀約3,500kg、銅約2,200kgを回収し、これらが今大会のメダルに使われたのである。

スマートフォンの周辺機器も年々増えてきている。スマートフォンを製造販売しているA社は、2015年にスマートフォンと連携して電話やメールができる腕時計型携帯情報端末を開発した。さらに(b)新しい技術の開発に取り組み、独創的で品質の良い製品を生産する技術の開発により、2020年に発売された機種では、搭載されたセンサーによって心電図や血中酸素濃度をリアルタイムに測定してくれる機能が追加された。

A社のスマートフォンは他企業の機種と比べて高価格であるが、わが国では40%を超える利用者がおり、人気が高い。これは、(c)差別化競争の戦略をとっていることも理由の一つに考えられる。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、表彰台もリサイクルプラスチックを利用しており、24.5トンの素材を集め、最先端の3Dプリンターの技術を活用してつくられている。また、競技会場や選手村で使う電力を再生可能エネルギーでまかなうことにしたり、二酸化炭素を排出しない燃料電池車など次世代自動車も導入したりと、SDGsの実現に向けて多くの取り組みが行われた。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にして、私たちはこれからの持続可能な生活を考えていくことが求められている。

問1. 下線部(a)のような市場を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 独占市場      イ. 寡占市場      ウ. 完全競争市場

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. イノベーション      イ. モチベーション      ウ. オペレーション

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 自由競争が過熱し、企業が正常な利潤を得ることができないか、損失をこうむるほどの過度な企業間競争のこと。  
イ. 差別化されていない財の市場において、価格を下げることによって優位性を発揮しようとする企業間競争のこと。  
ウ. 差別化されている財の市場において、価格以外の点で競争の優位性を発揮しようとする企業間競争のこと。

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちの暮らしはインターネットの進歩により、いつでも買い物が楽しめるようになった。ここでは、店頭販売とインターネットによる通信販売を比較しながら、便利さについて考えてみる。

店頭販売では財を手にとってその情報を確認することができる。しかし、インターネットでは、(a)売り手は財のすべての情報を把握しているが、買い手はその一部分しか知ることができない状態がある。その結果、買い手は自分が注文したものと違うものが届いたと感じてしまうことがある。買い手はこれを理解して、販売されている財の平均的な価値を予想し、財の価格がその価値以下のものしか買わなくなる。これが繰り返されると(b)売り手も財の平均的な価値以下のものしか販売しなくなり、やがて質の高い財が通信販売の市場からは排除されてしまうことになる。

このように販売価格から店頭販売と通信販売で取扱商品に違いが生じる問題に対して、家電量販店のA社は在庫管理情報をリアルタイムに一元管理するシステムを構築し、店頭販売でも通信販売でも同じ商品を取り扱い、店頭での価格と通信販売での価格を同一にして、インターネット通信販売事業を開始した。

顧客はA社で購入する際は店頭販売でも通信販売でも同一価格で購入できるだけでなく、購入を希望してインターネットで検索した財を、その場で注文し、自宅に配送してもらうことも、出かけたついでに店頭で受け取ることも選べるようになった。このようなしくみをオムニチャネルという。(c)A社はこのような取り組みにより、顧客に対して「便利さ」を提供しているのである。

A社のような取り組みがある一方で、どの市場においても買い手は完全に売り手と同じ情報を得ることはできない。場合によっては、購入した商品に対する正しい情報を知らずに消費して、事故が発生することもある。そのような不便さに対応するため(d)政府は、2009年に消費者が安心して豊かに暮らすことができる社会を実現するため、新たに行政機関を設立した。

情報通信技術の発達により、私たちの生活はより便利になっていくだろうが、インターネットによる詐欺やトラブルなどの被害にあわないような情報リテラシーも私たちには求められている。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)のようなことを何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. アドバース-セレクション    イ. 完全情報    ウ. ゲーム理論

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の内容として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 顧客が欲しいと思ったときに、店頭にないものはインターネットを用いて似たような財を探し出して提案することで、顧客が探す手間を省く、という便利さを提供している。  
イ. 顧客が欲しいと思ったときに、インターネットで検索することで一番安い価格を調べることができ、最安値の店舗で購入することができる、という便利さを提供している。  
ウ. 顧客が欲しいと思ったときに、インターネットですぐに注文でき、注文した財を店頭で受け取ることも、自宅に配送してもらうことも選べる、という便利さを提供している。

問4. 下線部(d)に記された行政機関として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 警察庁    イ. 消費者庁    ウ. デジタル庁

㉘ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

マクロ経済の活発さを表す指標には、GDP(国内総生産)やGNP(国民総生産)などがある。ここでは、マクロ経済の代表的な指標であるGDPについてみる。

例えば、パソコンメーカーがパソコンを生産する場合は、ほかの企業によって生産された半導体や液晶画面などの中間生産物が利用されている。完成したパソコンの価値には、これらの中間生産物の価値が含まれているため、パソコンメーカーと半導体メーカーの生産額を単純に合計すると、パソコンの生産に使われた半導体の価値は二重に加算されることになる。そのため、GDPはある一定期間に国内でうみ出された付加価値の合計であると定義されている。付加価値とは、生産額から(a)生産に必要となった中間生産物の購入額をさし引いたものである。

ここでは、小麦農家、製粉業者、製パン業者が存在する国で、これらの生産活動がすべて国内で行われると想定して考えてみる。小麦農家が中間生産物を使うことなく50円の小麦を生産し、製粉業者は50円分の小麦を購入して、100円分の小麦粉を生産する。さらに、製パン業者が100円の小麦粉を購入して200円のパンを生産したとする。小麦農家、製粉業者、製パン業者のそれぞれの付加価値を計算することができる。(b)このとき、製パン業者がうみ出した付加価値も計算した結果わかる。そして、GDPが各生産者の付加価値の合計であり、最終生産物であるパンの生産額と同じになることが理解できる。

GDPは、一国の生産力をはかるものであるが、それを豊かさの指標とみることには注意が必要である。GDPの基礎となる付加価値は市場の価格に基づいて計算されるため、(c)市場で適正な価格がつかないような財の価値は、GDPに正しく反映されない。

このようなGDPの限界は以前から指摘されている。しかし、観測が難しいものを指標化することは困難である。そのため、一国の生産力の指標として、GDPより優れていると広く認められたものは、現時点では存在しない。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 固定資本    イ. 購買力平価    ウ. 中間費用

問2. 本文の主旨から、下線部(b)の値として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 100円    イ. 200円    ウ. 350円

問3. 下線部(c)の具体例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 介護サービス会社の提供する食事や入浴の介助などの介護労働  
イ. 家族が行う部屋の掃除や買い物などの家事労働  
ウ. 家事代行業者の提供する料理や洗濯などの家事労働

㊦ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

消費者物価指数(C P I)は、家庭で消費するモノやサービスの値動きを示す経済指標で、景気の良し悪しを映し出すものとして「経済の体温計」ともいわれている。

総務省は、2021年7月に消費者物価指数の基準を改定し計算方法を5年ぶりに見直すと同時に、調査品目の入れ替えを行った。例えば、高齢者用おむつやカット野菜などが追加され、固定電話や辞書などが対象から外れた。この入れ替えでは、5年前と比較して(a)消費量が増えた品目を加え、(b)消費量が減った品目を除くというように人々の消費行動の変化が反映されている。

消費者物価指数は、(c)基準バスケットを決めておき、基準年とほかの年の基準バスケットの購入費用を比較して物価変動を示すものである。基準バスケットの価格からT年(基準年)とT+1年(比較年)の消費者物価指数を求めることができる。そして、物価上昇率(インフレ率)は、物価指数が1年間にどれだけ変化したかを表す割合を示したものである。消費者物価指数を求めた後に、(d)T年からT+1年にかけての物価上昇率を一定の式によって求めることができる。

このようにして物価上昇率を求めることによって、(e)物価上昇率の値が持続的にプラスであるか、あるいはマイナスであるかをみることによって経済状況を判断することができる。物価変動をみることで、その時々<sup>の</sup>経済状況がインフレ(インフレーション)であるのか、デフレ(デフレーション)であるのかを分析して参考にすることが景気の判断には必要である。

問1. 本文の主旨から、下線部(a)と下線部(b)の組み合わせとして、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. (a)配達<sup>の</sup>牛乳 (b)配達<sup>の</sup>ピザ
- イ. (a)タブレット端末 (b)ビデオカメラ
- ウ. (a)CDプレーヤー (b)ドライブレコーダー

問2. 下線部(c)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 基準年における一般的な企業が購入する消費財のリスト
- イ. 基準年における一般的な消費者が購入する消費財のリスト
- ウ. 基準年における政府が購入する消費財のリスト

問3. 本文の主旨から、下線部(d)を求める式として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア.  $\frac{(T \text{ 年の消費者物価指数}) - (T + 1 \text{ 年の消費者物価指数})}{T \text{ 年の消費者物価指数}} \times 100(\%)$
- イ.  $\frac{(T + 1 \text{ 年の消費者物価指数}) - (T \text{ 年の消費者物価指数})}{T + 1 \text{ 年の消費者物価指数}} \times 100(\%)$
- ウ.  $\frac{(T + 1 \text{ 年の消費者物価指数}) - (T \text{ 年の消費者物価指数})}{T \text{ 年の消費者物価指数}} \times 100(\%)$

問4. 下線部(e)の内容として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 物価上昇率がプラスであればインフレ、マイナスであればデフレの傾向であると判断できる。
- イ. 物価上昇率がプラスであればデフレ、マイナスであればインフレの傾向であると判断できる。
- ウ. 物価上昇率がプラスであってもマイナスであっても、インフレの傾向であると判断できる。

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

わが国の政府は、一定の期間ごとにさまざまな経済統計を発表している。経済活動の活発さの指標としてGDP(国内総生産)をみるためには、物価変動による影響を取り除く必要がある。この調整を行ったGDPを実質GDP、調整を行う前のGDPを名目GDPという。

ここでは、下図の例を参考にこれらの指標についてみる。2018年を基準年、2019年を当該年と定めると、(a)2019年の名目GDPを求めることができる。次に、物価変動を取り除くことによって、(b)2019年の実質GDPを求めると下図のようになる。

そして、(c)経済成長率を求める。経済成長率は、名目GDPを扱うのか、実質GDPを扱うのか、GDPデフレーターを扱うのか注意が必要である。最後に、GDPデフレーターを求める。GDPデフレーターは物価を表しているので、基準年を100として、(d)2019年のGDPデフレーターを求めると下図のようになる。

これらの指数を求めるにあたり、ただ求め方を覚えるのではなく、実質GDPと名目GDP、GDPデフレーターの間関係を理解することが重要であり、経済の本質をとらえることにもつながる。

名目GDPと実質GDPの算出

|           | 2018年(基準年)             |     | 2019年(当該年)           |     |
|-----------|------------------------|-----|----------------------|-----|
|           | 価格                     | 生産量 | 価格                   | 生産量 |
| 農業製品      | 100                    | 10  | 110                  | 11  |
| 工業製品      | 200                    | 5   | 220                  | 5   |
| 名目GDP     | 100×10 + 200×5 = 2,000 |     | <input type="text"/> |     |
| 実質GDP     | 100×10 + 200×5 = 2,000 |     | 2,100                |     |
| 経済成長率     | 5%                     |     |                      |     |
| GDPデフレーター | 100                    |     | 110                  |     |

問1. 下線部(a)および図中の  に当てはまる値として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 2,000    イ. 2,100    ウ. 2,310

問2. 下線部(b)を求める場合に必要な条件として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 価格は基準年である2018年のものを用いる。  
 イ. 価格は当該年である2019年のものを用いる。  
 ウ. 価格は基準年である2018年と当該年である2019年の平均を用いる。

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の内容として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 名目GDPの増加率    イ. 実質GDPの増加率    ウ. GDPデフレーターの増加率

問4. 下線部(d)を求める式として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア.  $\frac{2019\text{年の名目GDP}}{2019\text{年の実質GDP}} \times 100$     イ.  $\frac{2019\text{年の実質GDP}}{2019\text{年の名目GDP}} \times 100$     ウ.  $\frac{2019\text{年の名目GDP}}{2018\text{年の実質GDP}} \times 100$

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

わが国の政府は、第2次安倍政権が始まった2012年12月から続いた景気拡大局面が2018年10月に終わり、翌月から後退局面に入ったと2020年7月に認定した。景気拡大は71か月間で途切れ、戦後最長のいざなぎ景気の73か月間には届かなかった。

ここでは、企業活動やわたしたちの生活に大きな影響を与える景気変動についてみる。実質GDPをはじめとしたマクロ経済の指標は、ゆるやかな上昇トレンドのなかで、谷→拡張期→山→後退期→谷という上下変動を繰り返している。このような動きを景気循環という。

わが国の政府は、経済が景気循環のどの局面にいるかを示すため景気動向指数という指標を公表している。景気動向指数には、DI(デフュージョン-インデックス)とCI(コンジット-インデックス)の二つのタイプがある。(a)DIは、拡張していると思われる指標の割合を示しており、一定の割合以上であれば経済は拡張局面であると判断することができる。CIは、採用した経済指標の動きの移動平均値を計算したものであり、上昇傾向にあれば景気は拡張局面であると判断することができる。そして、DIとCIには、(b)先行指数、一致指数、遅行指数の3種類がある。これらの指数から景気の動向をうかがい知ることができる。

また、(c)わが国の政府は、景気循環においていつ谷や山をむかえたかという日付を公表している。一つの谷から次の谷までが一つの景気循環であり、わが国の経済は1951年から2012年までに15回の景気循環を経験している。ただし、近年では循環が長期化する傾向がみられ、山や谷のタイミングがわかりにくくなっている。

景気を表す指標としては、これらのほかにも(d)短観がある。短観は、全国の主要な企業に対して行うアンケート調査に基づいて作成される。

以上のように、さまざまな経済指標があるが、そのような指標を適切に読み取ることで経済状況を正確に把握することが重要である。

問1. 下線部(a)に記された一定の割合とは何%か、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 30%    イ. 40%    ウ. 50%

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 将来の景気動向を示す指数  
イ. 過去の景気動向を示す指数  
ウ. 現在の景気動向を示す指数

問3. 下線部(c)に記された日付を何というか、漢字4文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問4. 下線部(d)を作成している機関はどこか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 内閣府    イ. 日本銀行    ウ. 経済産業省

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

ここでは、わが国の予算の一つである一般会計について、歳出のなかで最も割合が大きい項目である社会保障費をみよ。

社会保障費の7割は、(a)病気・老齢・障がい・失業などの困難に直面した人を支援する保険の歳出が占めている。このことは、1961年に国民皆保険、国民皆年金の制度が実現し、国民全員が公的医療保険と公的年金制度に加入することが義務づけられたことも関係している。公的医療保険は、高齢化と医療技術の高度化が進むなかで、その給付額が年々増加しており、財政を圧迫する要因となっている。2000年からは介護を必要とする人々を支援するための介護保険が導入された。

また、(b)公的年金制度は、かつて業種ごとにさまざまな制度が並立していたが、1986年よりその基礎的な部分が統一された。すべての国民は基礎的な年金として国民年金に加入することになっている。国民年金に上乘せされるものとして、厚生年金、共済年金、企業年金などが存在する。公的年金制度についても、高齢化の進展にともない収支の悪化が予想されており、改革が進められている。

そして、公的医療保険や公的年金などの社会保障負担は、税とはみなされていないが、税に似た性質がある。そこで、国税と地方税に社会保障負担を加えたものが国民所得に占める割合についてみると、その割合は2016年には約43%になる。

近年、わが国の政府は大きな財政赤字を出している。財政赤字は国債の発行により一時的に先延ばしできるが、いずれは国民の税金によって返済しなければならない。同様に、(c)国税と地方税と社会保障負担に財政赤字を加えたものが国民所得に占める割合についてみると、その割合は2016年には約50%であるが、今後、高齢化が進み福祉関連の支出が増える傾向があることを考えれば、この値が増加する可能性は高い。

一方、一部の事業についてはその歳出は特定の財源でまかなうように定められており、このような事業は一般会計に含めるより独立した収支計画を立てたほうが便利である。そこで、国の予算は一般会計だけでなく、(d)ある事業に対して受益者負担の原則により独立して処理される会計がつくられている。近年、この会計のあり方を見直され、その統廃合が進められているので、どのように推移していくのかをみていくことも必要である。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 養老保険    イ. 社会保険    ウ. 損害保険

問2. 下線部(b)の理由として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 制度間によって給付格差があったので、その格差を小さくするため。  
イ. 制度間によって保険料が異なっていたので、保険料を全員無料にするため。  
ウ. 制度間によって減免の条件が異なっていたので、その格差を小さくするため。

問3. 下線部(c)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 国民負担率    イ. 法定準備率    ウ. 潜在的な国民負担率

問4. 本文の主旨から、下線部(d)に記された会計を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

13 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2019年10月にわが国の政府は、消費税増税を2年半先送りしてきたなかで、消費税率を8%から10%に引き上げた。また、食料品や新聞など特定の品目は消費税率を8%に据え置く軽減税率を導入した。

政府は消費税以外にもさまざまな税を徴収しているので、ここでは、税の機能や役割についてみる。税収は政府の歳出をまかなうものだが、税の機能はそれだけではない。所得格差を小さくする機能をもつ累進税や、(a)人々の消費行動を誘導する効果をもつ税もある。

税は、所得税・法人税などの直接税と、消費税・印紙税などの間接税の二つに分類される。代表的な直接税である所得税は、税率を累進的にできるため、強い所得再分配効果を持たせることができ、特定の商品にかかる間接税に比べて市場をゆがめることも少ないという特徴がある。そのためわが国では、1949年のシャープ税制勧告以来、所得税が重視されてきた。

しかし、所得税の制度が正しく機能するためには、政府が国民一人ひとりの所得を正確に把握している必要がある。一般的に、給与所得者の所得は正しく把握できるが、そうでない者もいる。そのため、所得税のみを重視した税制には、(b)同じ所得であれば職業にかかわらず同じ税を負担すべきだとする考え方を保ちづらいつという欠点がある。

高齢化が進む今後のわが国においては、所得税のみを重視する税制では、十分な税収が得られない可能性がある。このような理由により、1989年に消費税が導入されて以来、(c)昨今のわが国の直接税と間接税の税収の比率(直間比率)の見直しが議論されるようになった。

また、財政赤字削減に向けて新たな財源が検討されるなか、法人税率は一貫して減少傾向にある。このことは、国際化が進展した現状で、法人税を上げればわが国の企業が低い税率を求めて海外に移転し、わが国の産業が空洞化することを恐れてのものである。

このように、税収は政府の歳出をまかなうものであるため、政府は厳しい経済状況のなか、財政赤字削減に向けて財源の確保を考えていかなければならない。

問1. 下線部(a)の例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. たばこ税    イ. 相続税    ウ. 住民税

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、漢字3文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)のわが国における状況として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. わが国の国税と地方税を合わせた直間比率は、直接税が約3割、間接税約7割の比率である。  
イ. わが国の国税と地方税を合わせた直間比率は、直接税が約5割、間接税約5割の比率である。  
ウ. わが国の国税と地方税を合わせた直間比率は、直接税が約7割、間接税約3割の比率である。

14 次の文章を読み、問いに答えなさい。

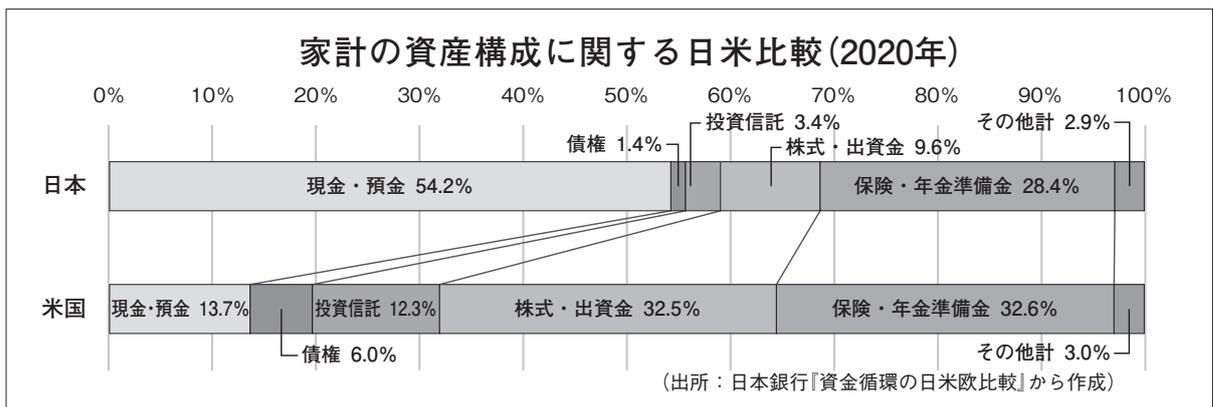
資金の借り手は、将来の返済を約束した証書を発行する。これを貸し手から見たものが金融資産である。金融資産には現金・銀行預金・債券・株式などがある。

個人が資産を形成するにあたり、ある一つの種類の金融資産のみを増やしていくとどうなるだろうか。もし、その金融資産の価値が低下したら資産の形成は難しくなってしまう。そうならないようにするためにはどうすればよいのか、ここでは個人の資産の形成について考えてみる。

貸し手にとっては、(a)資金を多様な金融資産にどのように振り分けるか選択することが重要な問題となる。金融資産を保有すれば、利子や配当が得られ、その価値が上がることによって収益が得られる場合がある。その一方で、保有した資産の価値が下がり、借り手が倒産することによって資金が返済されないリスクもある。収益とリスクは金融資産ごとにさまざまであるが、(b)金融資産には確定的ではないもののある傾向がみられるということ意識しておくことが資産を管理するうえで重要である。

下図は、家計の資産構成に関する日米比較である。下図を分析することで、(c)金融資産に対する日米の考え方の傾向を知ることができる。

経済状況を踏まえながら、今後も適切な資産の形成をしていくことが重要である。



問 1. 下線部(a)を何というか、カタカナ7文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問 2. 下線部(b)の説明として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 収益性の高い金融資産はリスクが小さく、収益性の低い金融資産はリスクが大きくなる。
- イ. 収益性の高い金融資産はリスクが大きく、収益性の低い金融資産はリスクが小さくなる。
- ウ. 収益性の高い金融資産も、収益性の低い金融資産もリスクは変化しない。

問 3. 下線部(c)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. わが国の家計は、金融資産に占める現金・預金の割合が大きいという特徴があるが、米国の家計は、わが国に比べ債券・投資信託・株式の割合が小さいという特徴がある。
- イ. わが国の家計は、金融資産に占める現金・預金の割合が小さいという特徴があるが、米国の家計は、わが国に比べ債券・投資信託・株式の割合が大きいという特徴がある。
- ウ. わが国の家計は、金融資産に占める現金・預金の割合が大きいという特徴があるが、米国の家計は、わが国に比べ債券・投資信託・株式の割合が大きいという特徴がある。

# ビジネス経済 A 解答用紙

得点

|   |    |  |  |  |  |  |  |    |    |    |
|---|----|--|--|--|--|--|--|----|----|----|
| 1 | 問1 |  |  |  |  |  |  | 問2 | 問3 | 問4 |
|   |    |  |  |  |  |  |  |    |    |    |

|   |    |    |    |  |  |  |  |  |
|---|----|----|----|--|--|--|--|--|
| 2 | 問1 | 問2 | 問3 |  |  |  |  |  |
|   |    |    |    |  |  |  |  |  |

|   |    |    |  |  |  |  |     |
|---|----|----|--|--|--|--|-----|
| 3 | 問1 | 問2 |  |  |  |  | 問3  |
|   |    |    |  |  |  |  | の法則 |

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| 4 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
|   |    |    |    |    |

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| 5 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
|   |    |    |    |    |

|   |    |    |    |
|---|----|----|----|
| 6 | 問1 | 問2 | 問3 |
|   |    |    |    |

|   |     |  |  |    |    |    |
|---|-----|--|--|----|----|----|
| 7 | 問1  |  |  | 問2 | 問3 | 問4 |
|   | 情報の |  |  |    |    |    |

|   |    |    |    |
|---|----|----|----|
| 8 | 問1 | 問2 | 問3 |
|   |    |    |    |

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| 9 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
|   |    |    |    |    |

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 10 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
|    |    |    |    |    |

|    |    |    |    |  |  |    |
|----|----|----|----|--|--|----|
| 11 | 問1 | 問2 | 問3 |  |  | 問4 |
|    |    |    |    |  |  | 日付 |

|    |    |    |    |    |  |
|----|----|----|----|----|--|
| 12 | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |  |
|    |    |    |    |    |  |

|    |    |    |  |  |     |
|----|----|----|--|--|-----|
| 13 | 問1 | 問2 |  |  | 問3  |
|    |    |    |  |  | 公平性 |

|    |    |  |  |  |  |    |    |
|----|----|--|--|--|--|----|----|
| 14 | 問1 |  |  |  |  | 問2 | 問3 |
|    |    |  |  |  |  | 選択 |    |

|      |  |  |  |      |  |  |  |
|------|--|--|--|------|--|--|--|
| 受験場校 |  |  |  | 受験番号 |  |  |  |
|------|--|--|--|------|--|--|--|

|     |  |
|-----|--|
| 総得点 |  |
|-----|--|

ビジネス経済 A 模範解答 (各2点)



得点

|   |    |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|---|----|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
|   | 問1 |   |   |   |   |   | 問2 | 問3 | 問4 |   |   |   |
| ① | 資  | 源 | 配 | 分 | メ | カ | ニ  | ズ  | ム  | イ | ア | ウ |

8

|   |    |    |    |   |   |   |   |   |   |
|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|
|   | 問1 | 問2 | 問3 |   |   |   |   |   |   |
| ② | イ  | ア  | 金  | 融 | ビ | ッ | グ | バ | ン |

6

|   |    |    |   |   |   |   |    |     |   |
|---|----|----|---|---|---|---|----|-----|---|
|   | 問1 | 問2 |   |   |   |   | 問3 |     |   |
| ③ | ア  | 限  | 界 | 効 | 用 | 逋 | 減  | の法則 | イ |

6

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
|   | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
| ④ | ア  | ウ  | イ  | ウ  |

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
|   | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
| ⑤ | イ  | ア  | ウ  | ウ  |

16

|   |    |    |    |
|---|----|----|----|
|   | 問1 | 問2 | 問3 |
| ⑥ | イ  | ア  | ウ  |

|   |    |   |      |    |    |    |
|---|----|---|------|----|----|----|
|   | 問1 |   |      | 問2 | 問3 | 問4 |
| ⑦ | 情報 | の | 非対称性 | ア  | ウ  | イ  |

14

|   |    |    |    |
|---|----|----|----|
|   | 問1 | 問2 | 問3 |
| ⑧ | ウ  | ア  | イ  |

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
|   | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
| ⑨ | イ  | イ  | ウ  | ア  |

14

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
|   | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
| ⑩ | ウ  | ア  | イ  | ア  |

8

|   |    |    |    |   |   |   |    |   |
|---|----|----|----|---|---|---|----|---|
|   | 問1 | 問2 | 問3 |   |   |   | 問4 |   |
| ⑪ | ウ  | ア  | 景  | 気 | 基 | 準 | 日付 | イ |

8

|   |    |    |    |    |   |   |   |
|---|----|----|----|----|---|---|---|
|   | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |   |   |   |
| ⑫ | イ  | ア  | ウ  | 特  | 別 | 会 | 計 |

|   |    |    |   |   |     |   |
|---|----|----|---|---|-----|---|
|   | 問1 | 問2 |   |   | 問3  |   |
| ⑬ | ア  | 水  | 平 | 的 | 公平性 | ウ |

14

|   |    |   |   |   |   |   |    |    |   |   |
|---|----|---|---|---|---|---|----|----|---|---|
|   | 問1 |   |   |   |   |   | 問2 | 問3 |   |   |
| ⑭ | ポ  | ー | ト | フ | ォ | リ | オ  | 選択 | イ | ウ |

6

|     |     |
|-----|-----|
| 総得点 | 100 |
|-----|-----|